

《到達目標》

- (1) 自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、それらに愛着を持つことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、適切に行動できるようにする。
- (2) 自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心を持ち、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにする。
- (3) 身近な人々、社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付いたことや楽しかったことなどを言葉、絵、動作、劇化などのより表現できるようにする。

学習計画(総授業時間数 102時間)

学期	単元	学習内容
前期	いちねんせいになったよ	・みんななかよし ・なにがあるかな ・さあたんけんた ・がっこうのまわりをさんぽしようよ
	ぐんぐんのびろ	・たねまき せわ ・さつまいもをそだてよう
	あそびばへいこう	・なにをしてあそぼうかな
	なつがきたよ	・あつくなってきたね ・たのしいなつやすみ
	ぐんぐんのびろ	・たねとり ・きゅうこんうえ
	げんきにそだて	・小動物の世話
	だいすきだよ	・いえでこんなことをしたよ ・しごとめいじんになれるかな ・いえでもチャレンジ!!
後期	あきになったね きもちがいいね	・なにをしてあそぼうかな ・あそぼうかざろう ・さつまいもをしゅうかくしよう ・さあ、あつまれ あきフェスタ! ・やってみよう!(あきをさがそう!) ・たのしみだね ふゆやすみ ・もうすぐお正月
	わくわくふゆがやってきた	・きたかぜとともだち ・むかしからのあそびをしよう ・やってみよう(いっしょにあそぼうよ!!)
	たのしかったね 1ねんかん	・おもいでがいっぱいできたよ ・あたらしい1ねんせいがくるよ

《評価の観点》

《生活への関心・意欲・態度》

身近な人、社会、自然及び自分自身に関心を持ち、進んでそれらとかかわり、楽しく学習したり、意欲的に遊びや手伝いなどをしたりしようとする。

《活動や体験についての思考・表現》

調べたり、育てたり、作ったりするなどの活動や学校や家庭などにおける自分の生活について、自分なりに考えたり、工夫したりして、それを素直に表現する。

《身近な環境や自分についての気付き》

具体的な活動や体験をしながら、がっこうや家庭および地域と生活、公共物の利用、身近な自然や動植物、自分の成長などの様子に気付いている。



《評価の方法》

- ・活動の様子を観察、発表、ノート、プリントなど。
- ・自己評価、相互評価など。

学習方法(授業の工夫・家庭学習)

地域や保護者の方に協力をお願いし、地域性を生かした学習を行います。

体験活動をできるだけ多く取り入れるようにします。

グループ活動を取り入れ友達とかかわりながら学習できるようにしていきます。

家庭での取材や材料集めなど協力をお願いします。

《到達目標》

- (1) 自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、それらに愛着をもつことができるようにするとともに集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、適切に行動できるようにする。
- (2) 自分と身近な動物や植物との自然とのかかわりに関心を持ち、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにする。
- (3) 身近な人々、社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付いたことや楽しかったことなどを言葉、絵、動作、劇化などにより表現できるようにする。

学習計画(総授業時間数 105時間)

学期	単元	学習内容
前期	ともだちいっぱいなかよくしようね	・1年生に学校を案内する。
	ぐんぐんのびろ	・ミニトマト、きゅうり、さつまいもの苗植え ・ミニトマト、きゅうりの世話と観察、収穫
	レッツゴー町たんけん	・町探検 ・発見したことを紹介する。 ・お礼の手紙を書く。
	げんきにそだて	・生き物を採集・飼育・観察
	わくわく夏休み	・夏休みの計画を立てる。
	げんきだったよ	・夏の町で見つけたことやしたことを教え合う
	あそび大すきあつまれ	・生活廃品を利用して作る。
後期	もっとしりたいな町のこと	・町に秋を見つけに行く。 ・秋の虫を探しに行く。 ・秋の町を発表する。
	ぐんぐんのびろ	・球根の植え付け、世話、観察 ・さつまいもの収穫・おいもまつり ・冬野菜の種まき、世話、観察
	もうすぐ冬休み	・コンピューターでスタンプ年賀状を作る。
	むかしからのあそびをしよう	・昔から伝わる遊びのやり方について調べ、楽しく遊ぶ。
	こなすてきな町なんだ	・冬の自然を見つけたり、地域の行事や人々とかかわって楽しく活動したりする。 ・見つけてきたことを発表する。
	みんな大きくなったよね	・小さい頃の自分の様子を調べる。 ・できるようになったことを発表する。 ・自分の出来事や成長の様子をまとめる。 ・3年生になる抱負を発表する。

《評価の観点》

《生活への関心・意欲・態度》

身近な人、社会、自然及び自分自身に感心を持ち、進んでそれらとかかわり、楽しく学習したり、意欲的に遊びや手伝いなどをしたりしようとする。

《活動や体験についての思考・表現》

調べたり、育てたり、作ったりするなどの活動や学校や家庭などにおける自分の生活について、自分なりに考えたり、工夫したりして、それをすなおに表現する。

《身近な環境や自分についての気付き》

具体的な活動や体験をしながら、学校や家庭及び地域と生活、公共物の利用、身近な自然や動植物、自分の成長などの様子に気付いている。



《評価の方法》

- ・ 活動の様子の観察
- ・ 発表
- ・ 観察記録・絵・作文
- ・ 自己評価、相互評価など。

学習方法(授業の工夫・家庭学習)

- ・ 地域の人々、社会及び自然を生かし、それらを一体的に取り扱います。
- ・ 児童が直接地域に出て、自分と地域の人々、社会及び自然との関わりを具体的に把握できるようにします。
- ・ 身近な人々とかかわりを深められるようにします。
- ・ 1年生のときの飼育や栽培の経験を生かし、新たなめあてをもって、活動できるようにします。
- ・ 国語、音楽、図画工作などの他教科との関連を図ります。
- ・ 安全に配慮します。
- ・ おいもまつりや小さい頃の様子のインタビューなど、ご協力をお願いします。